

# 営農情報

## 畦畔除草の省力化について

ラウンドアップ系の除草剤は雑草の根まで枯らします。その為、水田畦畔に使うと崩れてしまうから使えない、そんな風にお思いではないでしょうか。しかし、時期を選んで適切に使用すれば、畦畔の強度を保ち、かつ春の除草作業の大幅な省力化を実現することができるのです。

その方法とは、ラウンドアップ系の除草剤を秋冬に散布することです。



写真1. 秋冬処理なし

写真2. 秋冬処理あり

写真1、2を比べてみると、翌春の畦畔の状況がまるで違うことがわかります。

様々な除草剤がありますが、特にラウンドアップマックスロードは低温期でも根までしっかり枯らすため、長期間の抑草が可能です。

なぜ畦畔が崩れないのか。それは、冬期間の積雪による重みで、畦畔の土が締るからです。

雪は私たちが思っている以上に重いもので、1立方メートル当たりおおよそ新雪で50～150kg、根雪の場合は500kg以上にもなります。

これだけの重量が冬期間かかることで畦畔が締り、崩壊を防ぐことができます。

夏は雑草の根まで枯らさない除草剤を使って畦畔の強度を保ち、秋冬期に根まで枯らすラウンドアップ系の除草剤を使って雑草の密度を減らしていくことで、畦畔除草の大幅な省力化が可能です。積雪による重みで畦畔の土を締めることができる秋冬が使用するチャンスです。